

WELLNESS
KOMORO city

ウェルネスシティ 信州小諸

— 自分らしく居られるまち、自分に還れるまち —

小諸市の最近の動きと 小諸新校に寄せる期待

～小諸版ウェルネスシティと
小諸からはじめる地方の時代～

2021年5月24日

小諸新校再編実施計画懇話会

小諸市長 小 泉 俊 博

0. 小諸版ウェルネスシティの背景



少子高齢化、人口減少社会の到来

小諸市の今後の人口推計（予測）

年	総人口	年少人口	生産年齢人口	高齢人口
2000	46,158	7,060	29,297	9,623
2010	43,997	5,857	26,617	11,506
2020	40,850	4,900	22,193	13,757
2030	36,987	3,927	19,121	13,939
2040	32,624	3,263	15,397	13,964

※人口減少の加速

※生産年齢人口が総人口の半分以下に！

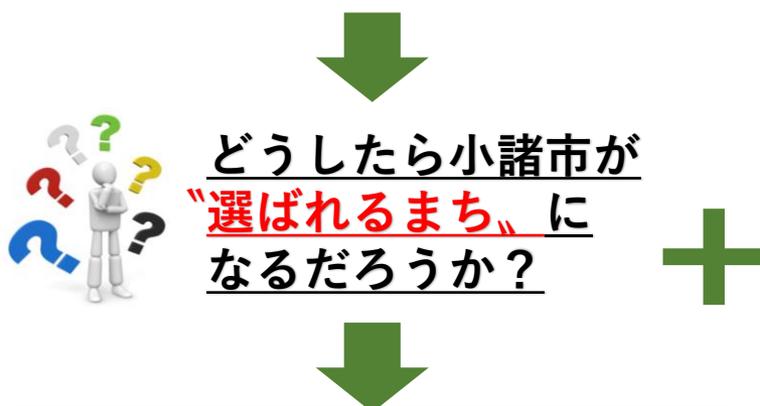
過去5年間の小諸市人口増減

年	1月1日人口	人口増減	自然増減数	社会増減数	その他増減
2016	42,462	-357	-221	-157	21
2017	42,105	-303	-225	-104	26
2018	41,802	-177	-207	5	25
2019	41,625	-244	-244	-15	15
2020	41,381	-241	-259	7	11

①→少子高齢化の進行（自然減）

②→移住定住政策による改善（社会増傾向）

③→人口減少が緩やかになりつつある




ウェルネスシティ 信州小諸

— 自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち —

新型コロナウイルス禍から学んだこと

1. 新型コロナウイルス・パンデミック発生時の“大都市の脆弱性、”
2. サードプレイスの重要性が増した
3. デジタルネットワーク社会の進化

・テレワーク ・オンライン会議等の展開 ・デジタル化推進

4. 都市と地方の役割分担 地方創生の加速 = 自治体間競争

・地方創生の推進 ・移住定住が加速 ・企業の地方移転の加速 など

→ 人々の意識の変革と社会構造の大転換をもたらした



1. 小諸版ウェルネスシティとは何か



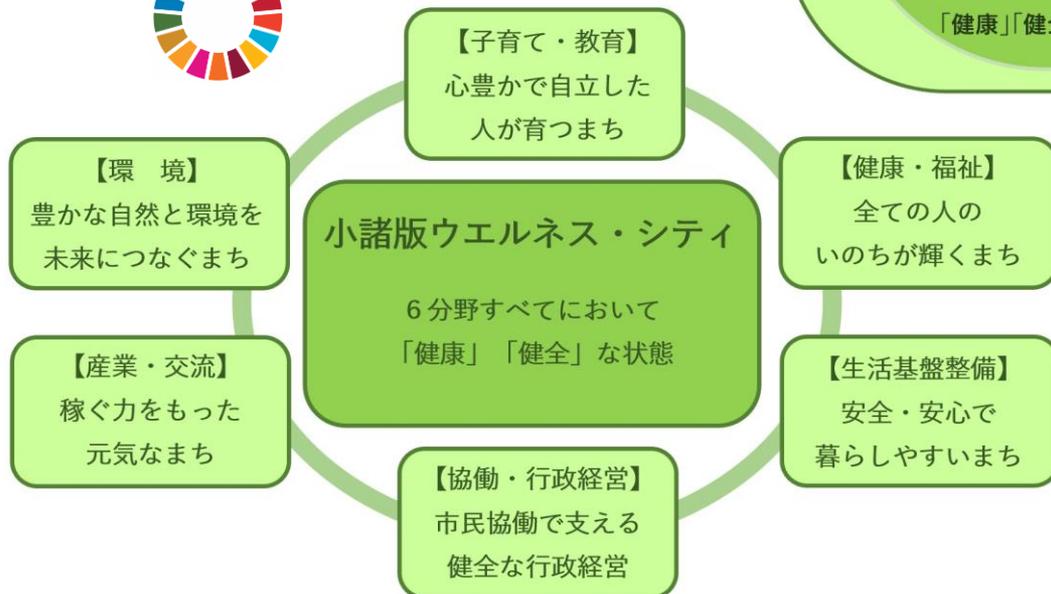
ウェルネスシティ 信州小諸

—自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち—

小諸版の“ウェルネス”の主な特徴

- ①健康分野に限定しないあらゆる分野におけるウェルネス
- ②ウェルネス・サードプレイスを取り入れている

※市の総合計画の目標にSDGsを加味



小諸版ウェルネス・シティ

市民が健康で生きがいを持ち、安心安全で豊かな人生を営めるまち。
小諸市を訪れる市内外の人々が“自分に選る”、“何度でも帰りたい”、“住んでみたいまち”



小諸市に住んでいる市民（定住人口）や市外の人（交流人口、関係人口）から

“選ばれるまち”を目指す

「小諸だから選ばれる」
「小諸でなければできない」
を目指して

2. 最近の小諸市の動きから①【産業・交流】



ウェルネスシティ 信州小諸

— 自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち —

企業誘致



HABA

新規出店



ヒトも企業も都会から地方へ

例えば…

(株)BTM (IT企業)

→小諸駅前にサテライトオフィス+イノベーションハブこもろラボ (IT人材育成スクール開設) →IT企業の集積、移住定住

軽井沢蒸留酒製造(株) (ウイスキーメーカー)

→小諸蒸留所 (松井地籍) +ウイスキーアカデミー+MB/イアン・チャン→世界品質のウイスキー製造、交流人口の増加

※小諸には、他にも世界品質のワインがある

ハーバー(株) (化粧品製造)

→御影新田に小諸工場+無添加化粧品→雇用確保・拡大

例えば…

彩本堂 (カフェ) 6月7日OPEN

→荒町にコーヒーショップ+丸山珈琲から独立した中山吉伸さん (バリスタ、サイホンで世界2位→癒しの空間、交流人口の増加)

小諸駅のまど (カフェ) 2020年秋OPEN

→小諸駅前+移住者→テレワーク、交流人口の増加

※旧北國街道、小諸駅周辺での新規出店が続く

3. 最近の小諸市の動きから②【産業・交流】 【生活基盤整備】



ウェルネスシティ 信州小諸

— 自分らしく居られるまち、自分に選れるまち —

農業

小諸の農のブランド化



アグリシフト
プロジェクト



米食味分析鑑定コンクール
世界大会INこもろ

例えば…

アグリシフトプロジェクト

→小諸の農のブランド化→土壌微生物に着目（小諸基準）
→安心安全で美味しい農作物で稼げる農業へ

米食味分析鑑定コンクール国際大会INこもろ 2022年秋

→世界金賞米の生産地→土と水（アグリシフト）→ブランド化へ

産学官連携

例えば…

(株)カクイチ × 事業構想大学院大学

→農業振興事業とMaaS（マース）事業で連携

小諸市 × 事業構想大学院大学 × (株)カクイチ



ネットワーク型 コンパクトシティ



こもテラス（複合型中心拠点誘導施設）

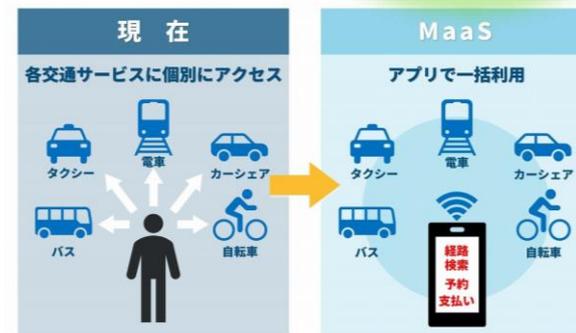
●公共施設棟

- ・交流スペース ・市民活動ボランティアセンター
- ・愛のりくんコールセンター ・高齢者福祉センター
- ・ファミリーサポートセンター
- ・病児・病後児保育施設 ・公共駐車場

●商業施設棟

- ・スーパーマーケット ・公共駐車場

次世代公共交通 = M a a S （マース） →



4. 小諸市の2つのDNAについて



ウェルネスシティ 信州小諸

— 自分らしく居られるまち、自分に選れるまち —



小諸を支えてきた二つのDNA

- 1 小諸は歴史的に**移住者と地元住民の交流が**“**化学反応**”を起こし、**まちの発展につなげてきたDNA**
例) 小諸義塾 木村熊二塾長や島崎藤村 → 産業振興、文化芸術振興
- 2 時代を先取りする“**ファーストペンギン**※”として、**様々なチャレンジをしてきたDNA**
例) 長野県初の図書館、動物園 最近ではコンパクトシティの取り組み



コロナ禍により移住者の増加、社会構造の変革による関係人口の増加により多くの“**面白い人たち（未来を創る多様な人材）**”がまちづくりに浸透し始めてきている実感

→小諸の二つのDNAにより新たな化学反応やチャレンジに期待

地元住民があたりまえと思っている
地域資源が、実は他には無い魅力となっている。

“**小諸だから選ばれる**”

“**小諸でなければできない**”がカタチになりつつある。

市民が「**地元を知り、愛し、誇りに思い、行動する**」
＝シビックプライドにつなげていきたい。

※ファーストペンギンとは、群れで行動するペンギンのうち、魚を捕るために一番最初に海に飛び込む勇気あるペンギンのこと。そこから転じて、ベンチャー精神あふれる起業家など新しい挑戦をする姿勢のことを表す。海には天敵の存在や荒波に流されてしまうといった危険があるが、食糧でもある魚が生息する場所でもあり、より多くの魚を獲るチャンスがある。

5. 小諸新校に期待すること



ウェルネスシティ 信州小諸

— 自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち —

“多様な学び”の実践により人間味あふれる、バランス感覚に富んだ人材の輩出

行政

- ・小諸未来義塾などを通して社会の仕組み、見る目を養う 例) 市議会
- ・行政と協同して事業を行う体験 例) 鯖江市 JK課

企業
企業人

- ・企業で行っている事業を体験すること 例) 丸山珈琲、アバンティなど
- ・社会の第一線で活躍する企業人等から学ぶこと 例) こもろラボ 他

大学
大学生

- ・大学との連携授業 例) 明治学院大学、信州大学など
- ・小諸を訪れる大学生との交流 例) 慶応大学岡原ゼミなど

市民
市民団体

- ・小中学生、市民との交流 例) 音楽交流など
- ・イベントやボランティアへの参加 例) さくらさくライブなど



化学反応
チャレンジ精神

小諸のどこでも、誰からでも
学ぶことができる

KOMORO CAMPUS

“小諸だからできる” 学びの実践

【子育て・教育】
「心豊かで自立した人が育つまち」を実現

小諸の魅力、チカラになる!



ウェルネスシティ 信州小諸

— 自分らしく居られるまち、自分に還れるまち —

ご清聴ありがとうございました